

専門職向け公開講座

地域ケアの実現に向けて 第 **31** 回

“認知症街ぐるみ支援ネットワーク”の目的は介護者、病院、行政、ボランティアなどのネットワーク作りを行い、認知症のご本人やご家族を支える仕組みを作ることです。

この講座では介護や福祉、医療に携わる方々に学習と交流の機会を提供し、いっそうの地域連携を進めることを目指しております。皆様のご出席をお待ちしております。

現代人の感度からみる 認知症とその予防

東京医科歯科大学 脳統合機能研究センター 特任教授
あさだ たかし

講師：朝田 隆 先生

日時

平成31年 2月13日(水)
18:30 ~ 20:30

定員

50名 先着順
※お申込方法は裏面を
ご覧下さい。

場所

日本医科大学武蔵小杉キャンパス
南館2階講堂

参加費

無料

現代社会で中高年が最も怖がるものが認知症です。ところがこの恐怖心を持ちながらも積極的に予防に取り組む人は稀です。意を決して受診した専門機関で予備軍や初期認知症だと告知されると、多くの人では早期発見が早期絶望に変わります。また考えたくないことの問題に目をそむける否認型もあります。しかしたとえ予備軍でも4人に1人は健常に戻れることも報告されます。それだけにライフスタイル作りや認知トレーニングと生活習慣病への対応という非薬物療法は、新たな予防戦略の核として期待されるのです。そこで徹底

抗戦型になってもらうには、対応方法が求められます。

これに対して国レベルでは、厚労省事業として介護予防や初期集中支援チームがあります。だがそれが機能しているとは考え難いのです。また民間レベルでも認知症予防の重要性に立った孤発的な取り組みはあります。しかし発見・その後の対応という連続性やその対応法がもつ予防効果が未知だから、予防事業の全体としては未熟な域を出ていません。そこで効果につながる連続性を示す必要があるのです。

共催：日本医科大学 武蔵小杉病院、エーザイ（株） 後援：川崎市

公開講座 地域ケアの実現に向けて 第31回

参加申込書

受講票を2月1日以降、順次お送り致します。

FAX 044-733-6688

ご記入の上このまま送信下さい

メール soudan@nms.ac.jp

下記内容をメールでお送り下さい

(ふりがな)

お名前

連絡先 電話 (勤務先)

FAXで受講票を
お送りします。
正確にご記入下さい

FAX

電子メール

職業 医師 看護師 介護支援専門員 保健師
社会福祉士 その他 ()

勤務先

- 今回のテーマについて質問や聞いてみたいことをお書き下さい

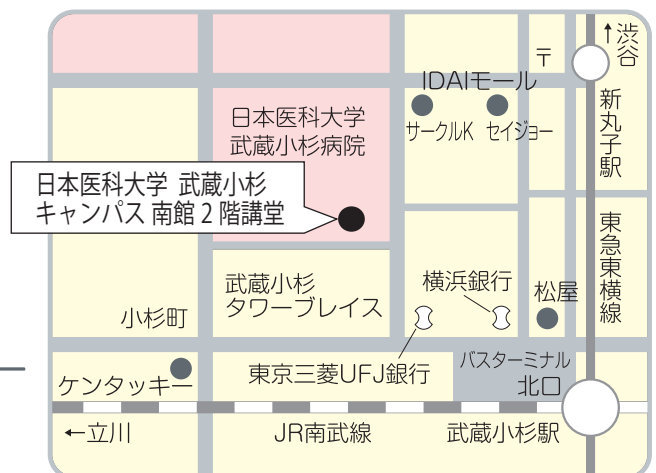
●会場のご案内

日本医科大学武蔵小杉キャンパス 南館 2階講堂
JR 南武線、東急東横線・目黒線 武蔵小杉駅北口
より徒歩 2分

●お問い合わせ

日本医科大学  街ぐるみ認知症相談センター

住所 〒211-8533 川崎市中原区小杉町 1-396
TEL : 044-733-2007 FAX : 044-733-6688
mail : soudan@nms.ac.jp



<http://www.nms.ac.jp/ig/soudan/>